



大野俊明 挿絵展

「小説伊勢物語 業平」
「小説小野小町 花の色は」
挿絵原画展



「小説小野小町 花の色は」から「菊の庭」

2024.9/30 月 → 11/1 金

第434回 めましんストリートギャラリー



「小説伊勢物語 業平」から「あが君」



「小説伊勢物語 業平」から「芦屋の灘」



「小説伊勢物語 業平」から「出車」



「小説伊勢物語 業平」から「藤の花房」



「小説伊勢物語 業平」から「富士の嶺」



「小説伊勢物語 業平」から「芳しき花」

「小説小野小町 花の色は」挿絵原画



「小説小野小町 花の色は」から「あわれてふ」



「小説小野小町 花の色は」から「熾火（おきび）」



「小説小野小町 花の色は」から「二つの手輿」

「小説伊勢物語 業平」挿絵原画

大野 俊明（おおのとしあき）Toshiaki Ono

- 1948年 京都に生まれる
- 1971年 京都市立芸術大学美術学部日本画科卒業
新制作協会展・日本画部 初入選（同72）
- 1972年 京都・二条城二の丸御殿障壁画模写事業に参加（2022年退任）
- 1973年 京都市立芸術大学美術専攻科日本画専攻修了
第17回シエル美術賞展 3等賞
- 1974年 第18回シエル美術賞展 佳作
- 1984年 第1回横の会展 京都市美術館・池袋アートフォーラム（'93第10回最終展まで）
- 1985年 第8回山種美術館賞展
- 1986年 京の四季展 京都文化博物館
- 1987年 第9回山種美術館賞展 優秀賞
- 1989年 第10回山種美術館賞展 招待出品
- 1991年 タカシマヤ文化基金 第1回新鋭作家奨励賞
- 1992年 いのち賛歌・日本画100人展 京都文化博物館
成安造形大学就任（2013年退任）
- 1993年 京都市芸術新人賞
- 1995年 個展 流れ行く時の風—古典から現代まで 高島屋ニューヨーク
- 1998年 第1回NEXT展 高島屋京都グランドホール（'07第10回最終展まで）
- 2002年 個展 京・近江—流れ行く風— 高島屋（京都・日本橋・大阪・横浜・名古屋）
- 2004年 日本画 京の今日展 京都文化博物館
- 2008年 個展 山河行く風 高島屋（京都・日本橋・大阪・横浜・名古屋）
- 2009年 第1回京都日本画新展 美術館「えき」KYOTO（'18まで推薦委員として）
- 2013年 日本画 ころの京都展 京都文化博物館
- 2015年 京に生きる琳派の美展 京都文化博物館 / 高島屋日本橋
京都市立芸術大学就任（2020年退任）
- 2017年 京都市芸術振興賞
- 2020年 京都市立芸術大学退任記念展 京都市立芸術大学ギャラリー@ KCUA
同時代の表現展 高島屋（大阪・日本橋）
- 2021年 第34回京都美術文化賞
- 2023年 アーティストグループ現生展 京都府立文化芸術会館（同'24）

現在 無所属 成安造形大学名誉教授 日本美術家連盟会員 京都日本画家協会会員

パブリックコレクション

外務省、京都地方裁判所、京都府（京都文化博物館）、富山県立美術館、新潟県立万代島美術館、徳島県立近代美術館、奈良県立万葉文化館、山種美術館、東京オペラシティアートギャラリー、成川美術館、佐藤美術館、郷さくら美術館、岡田茂吉研究所、中信美術館

ごあいさつ

このたび、沼津信用金庫様のご厚意を頂いて、「小説伊勢物語 業平」と「小説小野小町 花の色は」の挿絵原画展を開催致します。

これらは、小説家で文化功労者の高樹のぶ子氏が、2019年に日本経済新聞夕刊で連載された「小説伊勢物語 業平」と2021年9月から2023年3月まで月刊誌「ハレメク」に連載された「小説小野小町 花の色は」の挿絵原画です。

主人公の在原業平と小野小町は平安時代に活躍した歌人であり、それぞれが読んだ和歌を織り交ぜながら美しい言の葉で著された雅な小説世界を、大和絵風の線と色彩に置きかえて表現してみました。

平安時代の優雅なひと時を、堪能頂ければ幸いです。

（連載小説は、日本経済新聞出版から「小説伊勢物語 業平」、「小説小野小町 百夜」として単行本化されました。）

——大野俊明



沼津信用金庫本店 〒410-8610 沼津市大手町5-6-16
TEL 055-962-5200

沼津信用金庫本店のストリートギャラリー
JR沼津駅南口より徒歩5分 / 夜10時までライトアップ



ぬましんストリートギャラリー
<https://www.numashin.co.jp/street/>